



# Deal Capsule

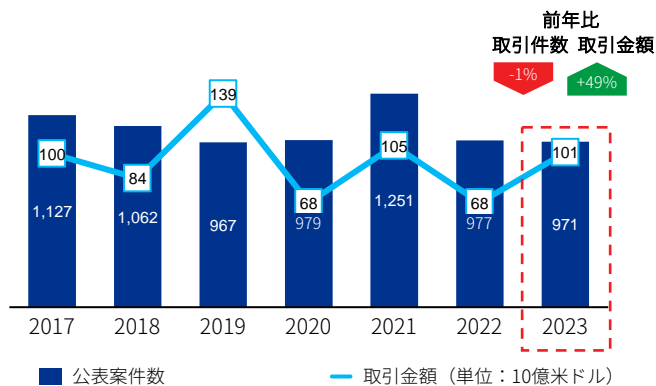


化学セクターにおけるM&A取引

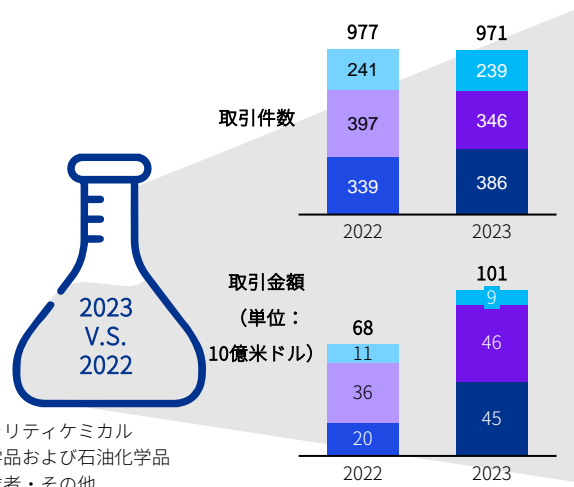
—  
2024年2月

# 化学セクター概況

## 化学セクターにおけるM&A取引の推移



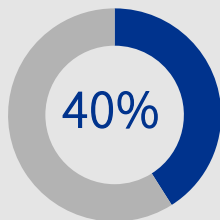
注：取引金額は小数点以下を切り捨て  
出処：Refinitiv、Mergermarket、S&P Capital IQ、KPMGドイツによる分析



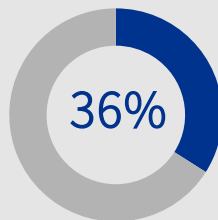
注：取引金額は小数点以下を切り捨て  
出処：Refinitiv、Mergermarket、S&P Capital IQ、KPMGドイツによる分析

## M&Aハイライト

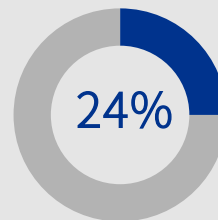
M&A取引の中心カテゴリーは  
スペシャルティケミカルで、  
取引全体の40%を占めた



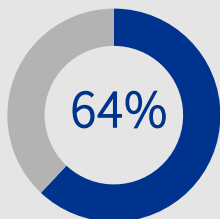
基礎化学品および石油化学品が、  
36%と続き



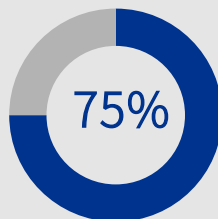
販売事業者・その他は、  
24%であった



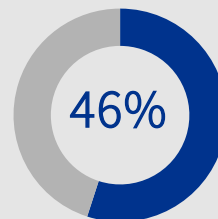
化学セクターを対象会社とするのは主に  
戦略的投資家で、取引全体の64%



小規模取引が大部分を占め、金額が  
公表された取引のうち75%が50万  
ドル未満の取引であった



一方、取引金額上位10件の合計額は、  
取引総額の46%を示す



出処：Refinitiv、Mergermarket、S&P Capital IQ、KPMGドイツによる分析



化学セクターにおける2023年の取引件数は前年比で横ばいであった。国際的な緊張の高まりや、高金利の長期化をはじめとするマクロ経済環境の悪化により、M&Aが抑制されたと見られる。しかしながら高成長企業への投資が重点的に行われたことから、取引総額は前年比で49%増加した。先行き不透明感はあるものの、経済安定化への取り組みやサプライチェーンの強靭化が進み、金利の引き下げも見込まれることから、2024年は取引が活発化すると予想する。戦略的な取引やESG経営の導入がこの動きを後押しすると見られる。

**CHRISTIAN KLINGBEIL**  
PARTNER, KPMG IN GERMANY

# 化学セクター概況

## 取引の背景

- 化学セクターにおける2023年のM&A取引は、2022年と比較して低調に推移しました。
- その要因と考えられるのは、世界的な紛争の増加に加え、金融引き締めや金利上昇に表されるマクロ経済の低迷です。
- こうした悪影響によりほとんどの地域で取引が減少しましたが、アジア太平洋地域と中南米では経済が安定化し、加えて中南米では石油化学取引が増加したことで、伸びが見られました。
- 取引金額は49%と大幅に増加しました。これは主にポートフォリオの転換を目的とする取引や、高利益・高成長企業への投資によるものです。
- 利益率の強化、取扱製品の拡充、展開地域の拡大を企図する戦略的投資家を中心となってM&A取引市場の活況を牽引しました。
- 資金調達環境の冷え込みから買収に慎重な姿勢を強めていたプライベートエクイティですが、豊富なドライパウダーを背景に慎重さがやや緩和されました。プライベートエクイティによる取引の件数は全体の36%を占めました。
- 2023年の取引においては、2022年と同じく、調達・流通の合理化のためサプライチェーンの再構築を企図する企業による国内取引が中心となりました。

- スペシャリティケミカル分野ではバリュエーションマルチプルが上昇しました。企業が高収益事業ベンチャーに対して大規模な投資を行う意欲があること、また化学セクターの中でもスペシャリティケミカルにシフトする動きが示唆されています。
- 基礎化学品および石油化学品のバリュエーションは前四半期比で低下した一方、販売事業者（「その他」を含む）の分野においては安定しています。マルチプルの低下には、経済の低迷や金利上昇を受けた投資家の疑念が影響している可能性があります。
- KPMGのDeal Thermometerによれば、化学業界におけるM&A取引の見通しは明るいと云えます。投資意欲の高まりに加え、借入額の減少により財務状況が改善されたことがこの好環境をもたらしています。

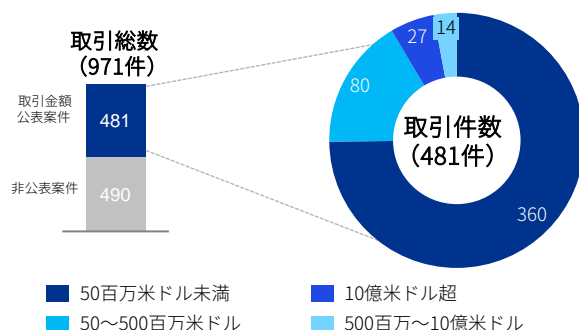


## 今後の見通し

2023年の化学セクターの取引は低調でしたが、2024年には勢いが徐々に回復してくる可能性があります。中東企業がエネルギー価格の上昇を受けて下流事業の化学関連資産に投資する可能性があること、金利の低下によりM&Aの資金を調達しやすくなると考えられるためです。さらに、サステナビリティ経営への移行、スペシャリティケミカルへの注力、経済安定性の高い地域への進出や取扱製品の拡充、サプライチェーンの再構築の必要性などによって取引が活発化すると見られます。

## 2023年のM&A概要

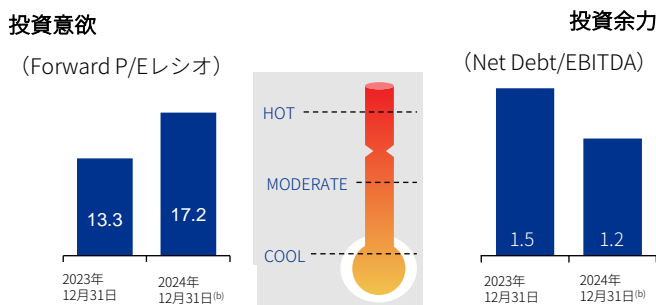
### 取引件数（公表/非公表案件別）



## サブセクター別上場企業のEBITDAマルチプル(a)

サブセクター	2023年Q3	2023年Q4
スペシャリティケミカル	14.5倍	14.7倍
基礎化学品および石油化学品	13.2倍	11.7倍
販売事業者・その他	11.5倍	11.5倍

## Deal Thermometer 2023年



Note: (a) 各四半期末の90%分位を指す  
(b) Forward P/Eレシオ：2023年の時価総額を2024年の予想純利益で割った数値  
(c) 取引余力：2024年の予想ネットデットを予想EBITDAで割った数値

出処：Refinitiv、Mergermarket、S&P Capital IQ、KPMGドイツによる分析

# 化学セクター概況

2023年に公表された  
化学セクターの大型案件(a)



2023年に公表された案件のうち、世界  
上位10件の取引金額：

**464億米ドル**



うち化学セクターの取引  
金額が占める割合：

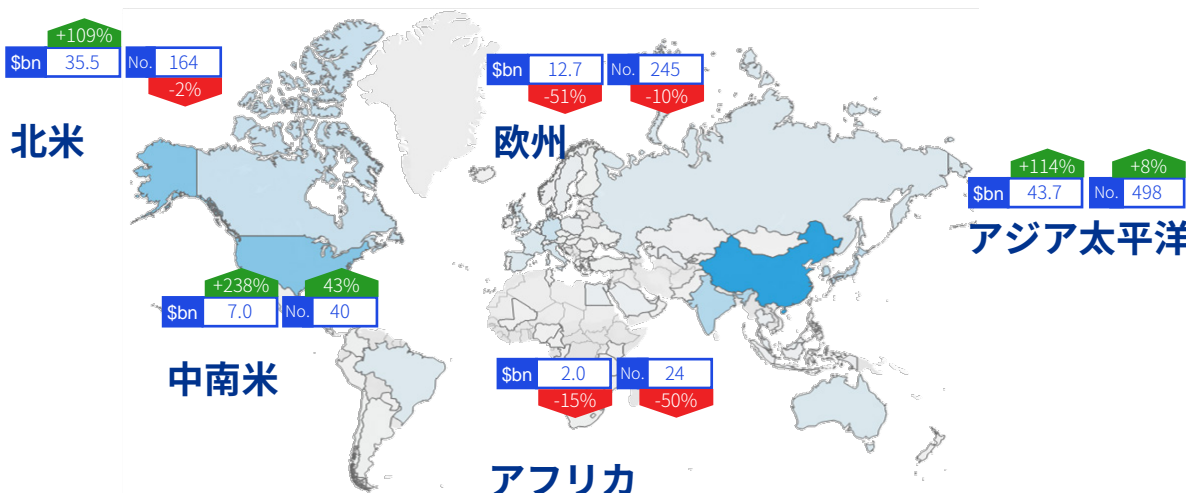
**46%**

買収企業	被買収企業	分野	事業領域	案件公表日	状態	取引金額(b)
Apollo Global Management, LLC and Abu Dhabi Investment Authority	Univar Solutions Inc.	スペシャリティケミカル	スペシャリティケミカル、原料販売	2023年3月14日	完了	8.2
Hangzhou Oxygen Plant Group (owned by Hangzhou Capital)	Zhejiang Yingde Holding Group Co. Ltd. (owned by Yingde Gases (Hong Kong) Co. Ltd. and Airpower Technologies Ltd.)	スペシャリティケミカル	産業用ガス	2023年5月4日	保留中	7.2
Japan Investment Corp.	JSR Corp.	スペシャリティケミカル	フォトレジスト	2023年6月24日	保留中	6.3
Solenis International LLC (owned by Sigura Water)	Diversey Holdings Ltd.	スペシャリティケミカル	消毒薬	2023年3月8日	完了	4.6
Allkem Ltd.	Livent Corp.	販売事業その他	リチウム化学品	2023年5月10日	保留中	3.8
Abu Dhabi National Oil Co. P.J.S.C.	Fertiglobe PLC (owned by OCI N.V.)	石油化学品	アンモニア	2023年12月15日	保留中	3.6
Koch Fertilizer, LLC (owned by Koch AG & Energy Solutions LLC)	Iowa Fertilizer Co LLC (owned by OCI N.V.)	石油化学品	肥料	2023年12月18日	保留中	3.6
Aramco Overseas Co. BV (owned by Saudi Aramco)	Rongsheng Petrochemical Co. Ltd.	石油化学品	原油	2023年3月27日	完了	3.6
EQT AB	Zeus Company Inc.	石油化学品	高機能ポリマー材料	2023年12月18日	保留中	3.4
GIC Capital	Messer SE & Co KGaA	スペシャリティケミカル	産業用ガス	2023年5月30日	完了	2.1

注：(a) フィナンシャルインベスターは斜体表記  
(b) 数字の単位はすべて10億米ドル

出処：Refinitiv、Mergermarket、KPMGドイツによる分析

## 地域別取引件数および金額(c)

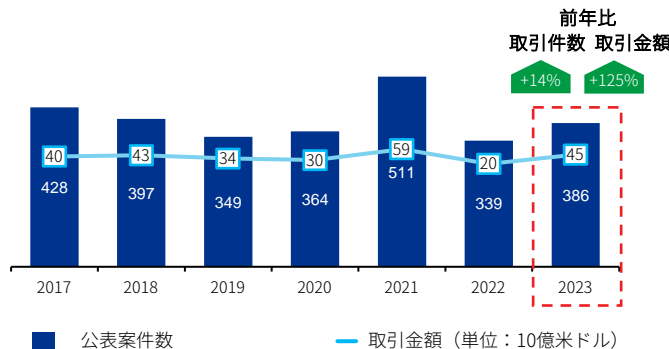


注：(c) 被買収会社の国を取引件数に基づき青の濃度で分類  
出処：Refinitiv、Mergermarket、KPMGドイツによる分析

# スペシャリティケミカル



## M&A取引の推移(a)



注: 取引金額は小数点以下を切り捨て

## 2023年Q4の取引金額分布(b)



注: (b) 57件の公表取引金額に基づく

## 上場企業のEBITDAマルチプル



注: (c) 2021~2023年の年平均成長率を示す

(d) 2022~2023年の前年比成長率を示す

出処: Refinitiv, KPMGドイツによる分析

## 概況

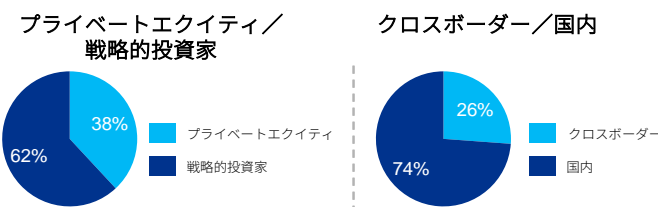
スペシャリティケミカル分野における2023年の取引件数は前年比で14%増、取引金額は同125%増となりました。

この急成長の要因は、サステナブルな製品や人・社会に配慮した製品に対する需要や、そうした製品の製造注文が増えたことです。企業の盤石なバランスシートも取引を後押ししました。

ポートフォリオ拡大を目指す企業の動きを背景に、戦略的投資が取引の多くを占めました。プライベートエクイティによる投資も年間を通して大きな割合を占めました。

本分野の取引は、2023年に実施された化学セクターの取引の上位10案件中5案件を占め、特にアジア太平洋地域において多額の投資が行われました。

## ハイライト



## 今後の見通し

2024年のスペシャリティケミカルにおけるM&Aは、企業が事業変革、サステナビリティ、シナジー創出を重要視する動きに伴い伸長すると予想されます。ポートフォリオの最適化を企図したノンコア資産の売却も、取引の活性化に資するでしょう。

## 2023年Q4公表案件トップ5

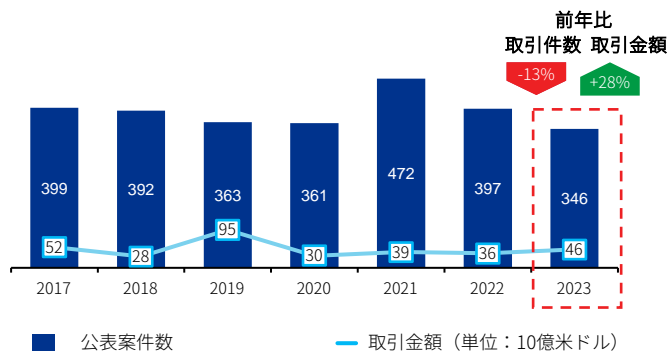
買収企業	被買収企業	目的	取引金額(e)
INEOS Oxide	LyondellBasell Industries Holdings B.V. (Ethylene Oxide and Derivatives business)	テキサス州を拠点とする対象会社のエチレンオキッドおよび誘導体事業の買収を通じた米国進出	0.7
NewMarket Corp.	AMPAC Intermediate Holdings LLC	安定的なキャッシュ創出、重要市場における競争力の獲得、対象会社の経験豊富なマネジメントの活用	0.7
PCBL Ltd.	Aquapharm Chemicals Pvt. Ltd.	グローバルにおけるスペシャリティケミカル事業のポートフォリオの拡大 (水処理関連品および石油・ガス化学品)	0.5
Südzucker AG	CropEnergies AG	対象会社の製品の拡充 (燃料用再生可能エタノールメーカーから代替燃料メーカーへ)	0.3
Samyang Holdings Corp.	Verdant Specialty Solutions LLC	スペシャリティケミカル分野のポートフォリオ強化および国際事業の加速	0.3

注: (e) 数字の単位はすべて10億米ドル

# 基礎化学品および石油化学品



## M&A取引の推移(a)



注: 取引金額は小数点以下を切り捨て

## 2023年Q4の取引金額分布(b)



注: (b) 35件の公表取引金額に基づく

## 上場企業のEBITDAマルチプル



注: (c) 2021~2023年の年平均成長率を示す  
(d) 2022~2023年の前年比成長率を示す  
出処: Refinitiv、KPMGドイツによる分析

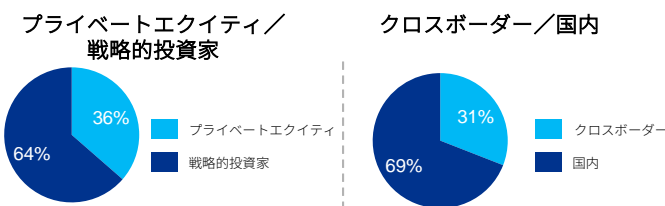
## 概況

本分野における取引は、需要の変動、製品（エチレン）の余剰、サプライチェーンの混乱、エネルギー価格の上昇等、地政学的な不透明感の影響を受け、2年連続で減少しました。

本分野の取引件数は前年比で13%減少したものの、取引金額は28%増加しました。世界の多くの地域で取引が低迷した一方で、アジア・オセアニアと中南米では著しい増加が見られました。

さらに需給バランスの改善や、企業における展開地域の拡大および製品の多様化への注力から、今後の取引増が期待されます。

## ハイライト



## 今後の見通し

本分野におけるM&Aは今後活発化すると予想されます。高性能プラスチック材料の需要増、世界的なエネルギー転換の流れ、エネルギー価格の高騰などの要因により、下流の化学関連資産に注目が集まる可能性があるためです。

## 2023年Q4公表案件トップ5(e)

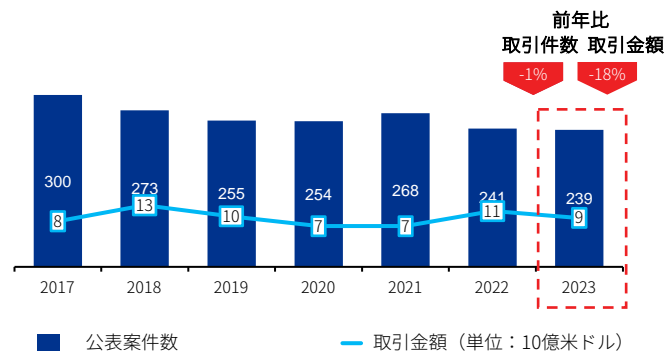
買収企業	被買収企業	目的	取引金額(f)
Abu Dhabi National Oil Co. P.J.S.C.	Fertiglobe PLC (owned by OCI N.V.)	アンモニアおよびクリーンアンモニアのグローバルプラットフォームの確立を通じた、化学事業における成長戦略の推進	3.6
Koch Fertilizer, LLC (owned by Koch AG & Energy Solutions LLC)	Iowa Fertilizer Co LLC (owned by OCI N.V.)	肥料事業への投資の活性化、生産能力と製品ポートフォリオの強化	3.6
EQT AB	Zeus Company Inc	対象会社の将来の拡大計画の推進、新製品開発、技術の高度化、業務プロセスの改善	3.4
Beijing New Building Materials Public Co. Ltd.	Carpoly Chemical Group Co. Ltd.	中国の塗料・コーティング事業における生産能力の拡大と市場プレゼンスの強化	0.6
Greif, Inc.	IPackChem Group SAS	ジェリー缶や小型プラスチック容器などの製品ポートフォリオの拡大、新たな地域への進出、オーガニック成長の推進	0.5

注: (e) フィナンシャルインベスターは斜体表記  
(f) 数字の単位はすべて10億米ドル



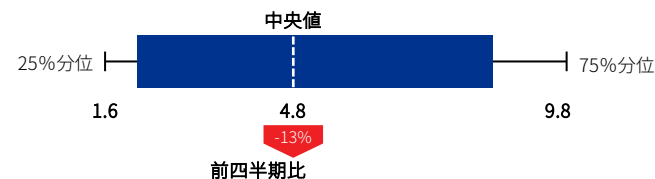


## M&A取引の推移(a)



注: 取引金額は小数点以下を切り捨て

## 2023年Q4の取引金額分布(b)



注: (b) 24件の公表取引金額に基づく

## 上場企業のEBITDAマルチプル



注: (c) 2021~2023年の年平均成長率を示す  
(d) 2022~2023年の前年比成長率を示す  
出処: Refinitiv、KPMGドイツによる分析

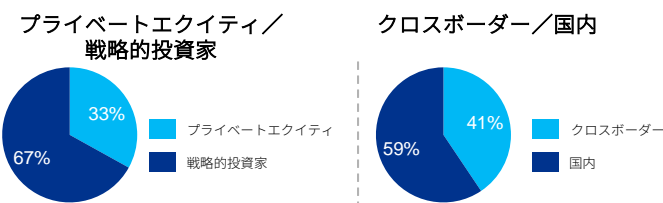
## 概況

販売事業者・その他の分野における2023年の取引件数は、前年比でわずかに（1%）減少し、取引金額も同18%減少しました。これは、多数の小規模取引、厳しい経済状況、エネルギー・一次産品価格の高騰に起因するものと見られます。

グローバルなサプライチェーンの混乱に対して、企業がサプライチェーンを現地化することで対策を講じた結果、国内取引が59%を占めました。

この分野においては、企業はポートフォリオの拡大、新たな地域への参入・浸透、業務効率の向上を目的として買収を進めています。

## ハイライト



## 今後の見通し

本分野におけるM&Aは、足元の状況は厳しいものの、サプライチェーンの現地化が進んでいること、買い手が対象会社のバリュエーションにプレミアムを払う用意があることから活発化する見込みです。

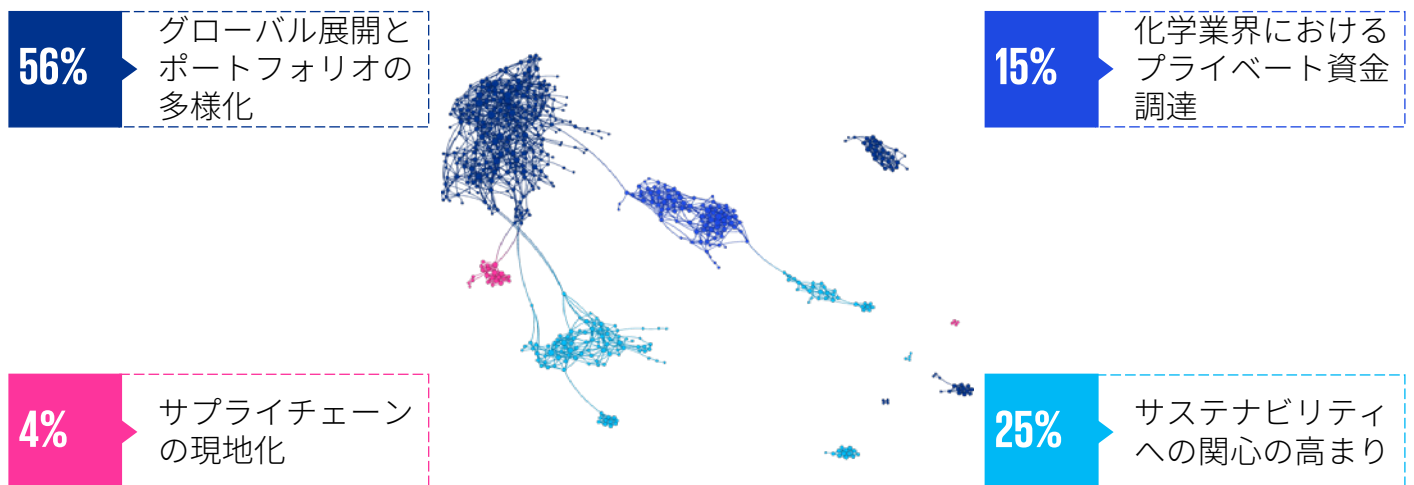
## 2023年Q4公表案件トップ5

買収企業	被買収企業	目的	取引金額(e)
JSC Roskhim	JSC "Kuchuksulfat"	生産能力の拡大、業務上の意思決定手続きの効率化	0.1
Inner Mongolia Shengli Civil Explosives Co. Ltd.	Guangling County Tond Jinghua Chemical Co. Ltd. (owned by Shanxi Tond Chemical Co. Ltd.)	進行中の開発プロジェクトの推進、戦略的な成長計画の実行、事業構造の最適化	0.1
Inner Mongolia Shengli Civil Explosives Co. Ltd.	Qingshuihe County Tongmeng Chemical Co. Ltd. (owned by Shanxi Tond Chemical Co. Ltd.)	資金需要の軽減を図りながら事業構造、資源配分、業務品質の最適化	0.03
Anhui Jiangnan Chemical Industry Co. Ltd.	Chaoyang Hongshan Chemical Co. Ltd. (owned by Liaoning Hongshan Chemical Co. Ltd.)	民間爆薬事業部門の整備と多角化	0.03
Neoterrex Inc.	Neoterrex Corp.	ケベック州におけるレアアースおよびリチウムの潜在的プロジェクトの推進	0.01

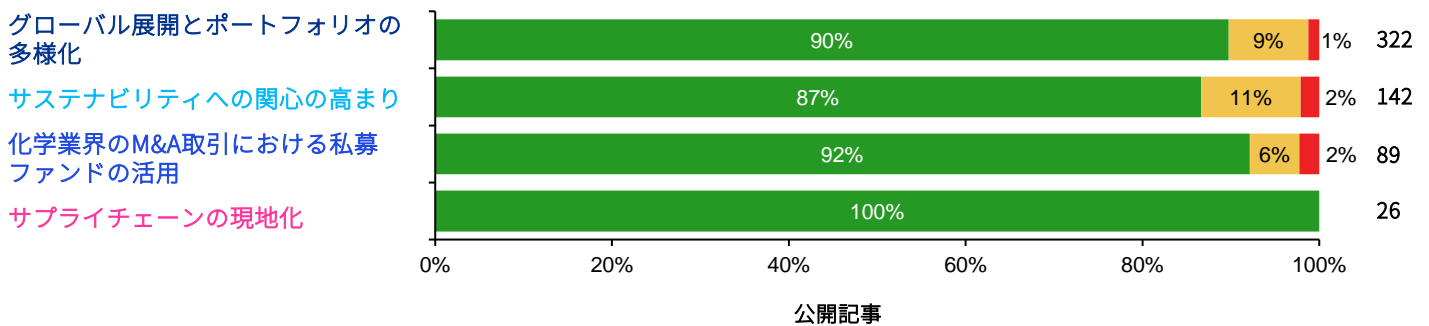
注: (e) 数字の単位はすべて10億米ドル

# M&A動向まとめ

## 2023年に公開された各種ニュース・ブログ記事から抜粋した、化学産業の最新M&A動向を示すキーワード(a) (n=579)



## 2023年の化学産業動向に対する意識分析 (n=579)



- 2023年を通じ、化学業界ではM&A取引に対して楽観的な見方が大勢を占めました。取引の主な目的は取扱製品の拡大、高成長市場への参入・浸透、サステナブルなソリューションの強化です。
- 企業が消費者の嗜好の変化を先取りし、グローバルのサステナビリティ目標を達成すべく取り組む中、グリーンテクノロジーと環境配慮型ソリューションへの投資が年間を通じてM&Aを促進しました。
- ただし、競争上の懸念と市場不均衡の恐れから、大規模取引に対する規制当局の監視が強化されたため、悲観的な見方も若干見られました。

### Sentiment summary

Positive	90%
Neutral	9%
Negative	1%

注：(a) Quidの自然言語処理解析 (NLP) に基づく  
出処：Quid、KPMGドイツによる分析



# M&A動向まとめ

## 2023年に公開された各種ニュース・ブログ記事から抜粋した、化学産業の最新M&A動向を示すキーワード(a) (n=579)

01

グローバル展開  
とポートフォリオ  
の多様化

- 化学企業は、業界におけるプレゼンス向上を目的に、取扱製品の拡充および新たなグローバル市場への進出を目指して、年間を通してM&Aを実施してきました。
- **2023年12月**：INEOS Oxideは、既存ポートフォリオの補強および米国でのプレゼンス強化のため、LyondellBasellのエチレンオキシドおよび誘導体事業を買収することを発表
  - **2023年12月**：Koch Ag & Energy Solutionsは、既存ポートフォリオの拡充と新規顧客の獲得のため、Iowa Fertilizer Co LLCの買収を検討中と発表

02

サステナビリティへの  
関心の  
高まり

- 化学セクターでは、サステナブルなソリューションを中心にM&A取引が増加しています。これはグローバルのサステナビリティ目標に対する取り組みを強化するため、環境配慮型テクノロジーを導入している企業を買収対象とする企業が増えているためです。
- **2023年12月**：Abu Dhabi National Oil Company (ADNOC) は、低炭素燃料かつ水素キャリアであるアンモニアのグローバルプラットフォームの構築を目指し、Fertiglobeの株式50%を追加で取得して大株主となることを発表
  - **2023年10月**：Greifは、サステナブルな包装ソリューションの獲得によるポートフォリオの拡充および新規市場への進出を目指し、IPackChem Group SASを買収することを発表

03

化学業界における  
プライベート  
資金調達

- アーリーステージのベンチャー企業は、成長機会に投資するため、デットファイナンスおよびエクイティファイナンスの両方を活用しています。
- **2023年10月**：海藻由来のバイオプラスチック包装資材メーカーであるFlexSeaは、ポルトガルと英国で展開地域を拡大するため、Indico Capital Partnersによるシードラウンドで2.4百万米ドルの資金を調達
  - **2023年6月**：シリコンカーボンバッテリー材料メーカーのSicona Battery Technologiesは、オーストラリアおよび米国におけるプレゼンス強化のため、シリーズAラウンドで15百万米ドルの資金を調達

04

サプライチェーンの  
現地化

- 化学企業は、現地・地域事業者の買収や統合を通じてサプライチェーンの現地化に取り組んでいます。強靭性を高め、世界的な混乱や不透明な情勢もたらさるリスクを軽減することがその目的です。
- **2023年12月**：Arkemaは、アイルランドでの製造拠点の確立および取扱製品の拡充を通じて同国でのプレゼンスを強化するため、Arc Building Productsを買収することを発表
  - **2023年3月**：Brenntagは、アジア太平洋地域での展開を拡大し、現地・地域の販売網を強化するため、Aik Moh Groupを買収することを発表

注：(a) Quidの自然言語処理解析 (NLP) に基づく  
出処： Quid、KPMGドイツによる分析

## 本報告書に関する基本事項

本報告書を通じて使用されている取引件数および金額は、2023年12月31日時点でRefinitivのデータベースで提供されている発表日の数字を独自調査により補足したものです。後続の号には発行日以降に入手可能となったデータが反映されるため、過去の号と記載が異なる場合があります。本報告書では少数株主持分の取得、残存持分の取得、資本増強を含む金額公表済みおよび非公表のM&A取引を対象にしており、自社株買いおよび分社化取引は明確に除外しています。各データの合計値と表示された合計値の差異は端数処理の影響によるものです。取引件数および金額は、下記の分野で展開する対象企業を分析して算出しました。

## 化学品

- 粘土、カオリン、セラミック、耐火鉱物
- 化学および非金属鉱業（燃料を除く）
- 肥料・農薬
- 産業用ガス
- スペシャリティケミカル
- 化学品卸売
- プラスチック、ゴム部品

KPMGのDeal Thermometerは、S&P Capital IQから提供された上場企業の財務データを基にしています。これら上場企業は、上記分野で活動する四半期末の時価総額が10億米ドル以上の企業で、化学セクターでは210社が該当します。

## 出処

- Refinitiv (Thomson Reuters)
- S&P Capital IQ
- Mergermarket
- 各社プレスリリース



本冊子は、KPMG AG Wirtschaftsprüfungsgesellschaft（ドイツ）が2024年2月に発行した「Deal Capsule」を、KPMGドイツの許可を得て抄訳したものです。翻訳と英語原文間に齟齬がある場合は、当該英語原文が優先するものとします。

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供するよう努めておりますが、情報を受け取られた時点およびそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2024 Copyright owned by one or more of the KPMG International entities. KPMG International entities provide no services to clients. All rights reserved.

© 2024 KPMG FAS Co., Ltd., a company established under the Japan Companies Act and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved.

The KPMG name and logo are trademarks used under license by the independent member firms of the KPMG global organization.

## お問い合わせ先



### Christian Klingbeil

Partner, Deal Advisory  
T +49 89 9282-1284  
cklingbeil@kpmg.com



### 高橋 恵太

KPMG FAS 執行役員パートナー  
KPMG ジャパン エネルギーセクター  
化学セクター統轄リーダー

## 執筆者

### Christine Greupner

Senior Manager, Deal Advisory, KPMG in Germany

### Stephan Musfeld

Senior Manager, Deal Advisory, KPMG in Germany

### Alexander Bruns

Deal Advisory, KPMG in Germany

### Ratika Saxena

KPMG Global Services

### Shreya Gupta

KPMG Global Services